

<目標2>男女平等・男女の自立のための意識変革

事業番号	事業	事業内容【指標】 又は【現状値】	平成26年度の事業実績	H26 【実績値】	所管局
2-⑥ 固定的性別役割分担意識の解消に向けた啓発・相談					
32	男女平等参画 についての 情報提供	市公式ウェブサイト始め、イー ブルなごや（男女平等参画推進 センター・女性会館）や名古屋 国際センターなどで情報提供を 行います。 【活動指標】 イーブルなごや ホームページアクセス件数 年50,000件 女性会館図書資料室圖書の貸 出 冊数 年5,000冊	○国際センター情報提供事業において、男女平等参画推進室や「イーブルなごや」との連携を図り、情報収集に努め、多言語による情報提供を行った。	実施	市長室
			○メールマガジン「イーブルなごや通信」の配信 ・男女平等参画推進センターの事業等の情報を登録者に配信 13回配信	年13回配信	総務局
			○男女平等に関する啓発資料の収集・整理を行い、男女平等参画推進センター1階情報フロアや活動コーナーにおいて開架式で展示し、情報提供を行った。	実施	総務局
			○市公式ウェブサイト「男女平等参画推進室」による情報提供 市公式ウェブサイトに男女平等参画推進室のページを設け、広く男女平等参画に関する情報発信を行った。	実施	総務局
			○イーブルなごやのホームページ運営 イーブルなごや（男女平等参画推進センター・女性会館）の紹介や事業の案内、市民活動団体の情報などの発信及び提供を行った。 URL http://e-able-nagoya.jp/ トップページアクセス数 66,862件	アクセス数 66,862件	総務局
			○市公式ウェブサイト「労働・雇用に関する法制度」による情報提供 市公式ウェブサイトの「労働・雇用に関する法制度」に、「男女雇用機会の均等化について」のページを設け、情報提供	実施	市民 経済局
			○図書資料室等の運営 主として女性教育・女性問題に関する図書・資料を中心に収集し、レファレンス（学習相談）を実施 主催事業に関連したテーマや時宜に合ったテーマで図書・資料の企画展示（ブックフェア）を実施 ・貸出利用者数 924人 ・貸出利用冊数 2,075冊 ・ブックフェア実施回数 6回	貸出利用冊数 2,075冊	教育 委員会
33	男女平等参画 啓発事業	イーブルなごや（男女平等参画 推進センター・女性会館）や区 役所で開催する講演会、シンポ ジウム、セミナー、講座等を通 じ、広範な市民に男女平等参画 を働きかけます。また保育士等 に対し、人権研修を実施しま す。 【活動指標】 講座・講演会等 年50回 区における男女平等参画推進 事業 16区	○講座・セミナー等の開催 イーブルなごやにおいて、広範な市民に働きかけるための男女共同参画に関する啓発事業を様々な形で展開した。 ・主催講座（5月～3月） 11講座 受講者 596人（女性510人、男性86人） ・市民企画公募委託事業（主催講座の内数）1講座 受講者 63人（女性41人、男性22人） ・市民交流事業（5月～3月） 6事業 参加者 1,326人（女性257人、男性82人、不明987人） ・セミナー、講演会等 13講座 受講者 594人（女性503人、男性91人）	講座・講演会 等 24回	総務局
			○男女共同参画週間の周知 イーブルなごやにおいて、男女共同参画週間を広く市民に周知した。 ・イーブルなごやオープニングイヤー記念イベント 内 容 「ドリームマップでなりたい自分をカタチに！」 「新しい“なごやのカタチ”を発信！」 開催日 平成26年6月28日（土） 参加者 56人 ・特別講演会 内 容 「新しい“なごやのカタチ”を発信！」 開催日 平成26年6月28日（土） 参加者 235人（女性162人、男性73人） 講 師 内閣府男女共同参画局長 佐村 知子 中京テレビアナウンサー 恩田 千佐子	実施	総務局
			○保育士の男女平等参画意識向上のための研修 ・保育所職員研修 公立・民間保育所の職員を対象に、職種別研修、テーマ別研修及び経験年数に応じた研修を実施 これらの研修において、男女共同参画に関する内容を含んだ研修を実施 <研修実績> ・中堅後期研修 119人 ・人権研修 延べ181人 ・主任・リーダー等研修 延べ98人	年3回実施 参加者数延べ 398人	子ども 青少年局

<目標2>男女平等・男女の自立のための意識変革

事業番号	事業	事業内容【指標】 又は【現状値】	平成26年度の事業実績	H26 【実績値】	所管局
33	(続き) 男女平等参画 啓発事業	イーブルなごや（男女平等参画推進センター・女性会館）や区役所で開催する講演会、シンポジウム、セミナー、講座等を通じ、広範な市民に男女平等参画を働きかけます。また保育士等に対し、人権研修を実施します。 【活動指標】 講座・講演会等 年50回 区における男女平等参画推進事業 16区	<p>○公開講座・講演会 継続的な学習が困難な方など、広範な市民を対象にした学習の場として、女性の生き方などをテーマに年間9回開催（女性・男性対象）</p> <p>・「いま」を読み解く（全4回） 内容 「“理系ママ”脳研究の最先端をいく～子育てと研究生活の両立～」 開催日 平成26年8月30日（土） 講師 名古屋大学大学院理学研究科教授 上川内 あづさ 学習者 64人（女性38人、男性26人） 他</p> <p>・特別講演会 内容 「新しい“なごやのカタチ”を発信！」 開催日 平成26年6月28日（土） 講師 内閣府男女共同参画局長 佐村 知子 中京テレビアナウンサー 恩田 千佐子 学習者 235人（女性162人、男性73人）</p> <p>○主催講座 男女共同参画社会の実現に向けて、女性のエンパワーメントにつながる学習機会を提供。また、生涯学習者の一人として自分らしく生きるために、生活の中の課題をさぐりながらその課題を認識するとともに、課題解決に向けて、主体的な力を身につけるための系統的・継続的な自主学習につながる契機として講座を開催 年間16講座を実施 定員10～40人、各講座2～5回、女性対象または男女対象 学習者 1,275人</p>	<p>公開講座・講演会 9回 765人</p> <p>特別講演会 実施</p> <p>主催講座 16講座 延べ1,275人</p>	教育委員会
			<p>○定期講座等において、男女共同参画に関する講座を開催。 <開催実績></p> <p>・開催生涯学習センター数 8 ・講座数 8 ・参加者数 136人（女性128人、男性8人）</p>	講座等8回 136人	各区
			<p><千種区> 「ちくさ防災ひろば」 千種区社会福祉協議会に業務委託し、災害ボランティアちくさネットワークと連携のもと、広く区民が参加できる防災イベントとしを実施した。 災害発生時に必要な女性への配慮など、助け合いの中での男女平等参画の視点を踏まえた防災講演を行った。 ・日時 平成26年11月22日（土）午前10時～午後3時 ・参加者 211人（一般参加150人）</p>	イベント1回 150人	千種区
			<p><東区> 「ボウサイを自分ごとにする」 大規模災害時の避難所でのさまざまな事例を想定し、被災時の疑似体験をするロールプレイングゲーム（カードゲーム）をグループに分かれ実施 男女平等参画・人権尊重の視点を始め3つのケースで行い、最後に、疑似体験で感じたこと、被害を事前に防げる方法、トラブルの確率を下げられる方法など気づいたことを標語を交えて発表した。 ・日時 平成26年11月7日（金）午前10時～正午 ・場所 東区役所4階 講堂 ・参加者 98人（女性98人）</p>	講座1回 98人	東区
			<p><北区> 地域での防災の取り組みの重要性について、男女平等参画の視点も交えた討論座談会 「北区地域防災のつどい～南海トラフ巨大地震、その時北区は～」(北区役所主催)の第二部の座談会において、東志賀学区の主任児童委員と、防災に関心の高い主婦が、「ママのための防災ピクニック」の話を中心に子育て世代の防災啓発・男女平等参画について発表を行った。また、啓発物品として防寒のみではなく、プライバシー保護にも使用できるアルミ温熱シートを配布。北区のマスコットキャラクター「キタッコ」の着ぐるみを用いたPR活動も実施。 ・日時 平成26年11月16日 午後2時～3時 ・参加者 98人（女性38人 男性60人）</p>	座談会1回 98人	北区
<p><西区> 災害時のトイレ体験及び非常持ち出し袋作製体験を通じ、自ら当事者として主体的に動ける防災リーダーを男女とも増やすことを目的に、男女の性差によるニーズの違いに配慮した防災のための意識変革を目指した。 ・日時 平成26年10月12日（日）午前10時～午後3時 ・場所 西区民おまつり広場特設ブース（庄内緑地内） ・参加者 約150人（男女比不明） ※アンケート回答者 男28人/女81人</p>	講演会1回 150人	西区			

<目標2>男女平等・男女の自立のための意識変革

事業番号	事業	事業内容【指標】 又は【現状値】	平成26年度の事業実績	H26 【実績値】	所管局
33	(続き) 男女平等参画 啓発事業	イーブルなごや（男女平等参画推進センター・女性会館）や区役所で開催する講演会、シンポジウム、セミナー、講座等を通じ、広範な市民に男女平等参画を働きかけます。また保育士等に対し、人権研修を実施します。 【活動指標】 講座・講演会等 年50回 区における男女平等参画推進事業 16区	<p><中村区> 「避難所運営研修」 地域の皆さんが災害発生時に男女平等参画の視点を踏まえた避難所をすみやかかつ効果的に運営できるよう、避難所の自主運営の方法や課題を認識してもらう。 ○避難所の運営方法や課題に関する講演 講師 災害ボランティアコーディネーターなごや 代表 高崎賢一さん ○避難所運営ゲーム（HUG）の実演と講評 講師 災害ボランティアコーディネーターなごや 楢住代さん スタッフ なごや中村災害ボランティアネットワーク ・開催日（区内18学区を3日間に分けて同じ内容を実施） ①平成26年11月4日（火） 日比津、諏訪、稲葉地、稲西、中村、豊臣、本陣、則武、亀島 ②平成26年11月5日（水） 新明、六反、牧野、米野、日吉、千成、柳、岩塚、八社 ※時間はいずれも午後2時～5時まで ・場所 中村区役所講堂 ・対象 区内18学区の災害対策委員および各種団体長 ・参加者 ①48人（女性15人 男性33人） ②46人（女性11人 男性35人） 2日間合計94人（女性26人 男性68人）</p>	講座等2回 94人	中村区
			<p><中区> 「中区安心・安全・快適なまちづくり大会」 中区安心・安全・快適なまちづくり大会における「男女平等参画の視点から考える防災 備蓄物資でつくるおいしい災害食」ブースにおいて実演を交え災害食を紹介するとともに、ブースを訪れた小学生を対象に小学生向け男女平等参画教育資料カード「たいせつなこと」を配付し理解を深める ・日時 平成26年10月5日（日）午後1時30分～3時30分 ・場所 御園小学校グラウンド（雨天中止） 「御園学区避難所運営訓練」 ・日時 平成26年10月5日（日）午後1時30分～3時30分 ・場所 御園小学校 ・参加者 30名（男17人、女13人）</p>	避難所運営 訓練1回 30人	中区
			<p><昭和区> 「大地震発生！ワタシひとり。その時、どうする!?」 発災時、男女の役割を超えて個々人が自らの命を守るため、家族の安否を確保するために、どう考え行動すべきかを主眼に、自ら積極的に行動し自助を認識する機会にする。 ・日時 平成27年3月5日（木）午後1時30分から午後3時30分 ・場所 昭和区役所6階第4会議室 ・参加者 29人</p>	講演1回 29人	昭和区
			<p><瑞穂区> 「男女平等参画の視点から考える防災」 災害時の避難所運営における地域の人材を養成することを目的として実施する「避難所運営リーダー研修」のフォローアップとして講演を実施 講師 伊藤 知恵 （日本防災士会愛知県支部役員・名古屋みずほ災害ボランティアネットワーク代表） ・日時 平成27年2月14日（土）午後1時30分～3時30分 ・場所 瑞穂区役所 講堂 ・参加者 105人</p>	講演1回 105人	瑞穂区
			<p><熱田区> 名古屋学院大学第3回名古屋地区・震災ボランティア学生交流会の第3部公開講演会（名古屋学院大学・熱田区役所共催） 福島市出身の上竹さんに、東日本大震災後間もなく赴任したいわき市での体験と、その体験を通して感じたことを男女平等参画の視点で語っていただいた。 演題 「福島で暮らして考えたこと～女性の視点から～」 講師 上竹裕子さん（日本キリスト教団磐城教会牧師） ・開催日 平成26年11月29日（土） ・場所 名古屋学院大学 白鳥学舎「翼館」 ・参加者 75人</p>	講演会1回 75人	熱田区
			<p><中川区> 「防災カフェ」 4学区において、女性を中心に防災についてざっくばらんに話し合う場を設け、男女平等参画の視点から避難所運営の課題を考える。また、併せて避難所の防災設備を実際に確認し、災害に備えた。 講師 名古屋なかがわ災害ボランティアネットワーク ・開催日 平成26年12月16日（火） 平成27年1月27日（火） 2月15日（日）・19日（木） ・参加者 138人</p>	ワークショップ 4学区各1回 138人	中川区

<目標2>男女平等・男女の自立のための意識変革

事業番号	事業	事業内容【指標】 又は【現状値】	平成26年度の事業実績	H26 【実績値】	所管局
33	(続き) 男女平等参画啓発事業	イーブルなごや（男女平等参画推進センター・女性会館）や区役所で開催する講演会、シンポジウム、セミナー、講座等を通じ、広範な市民に男女平等参画を働きかけます。また保育士等に対し、人権研修を実施します。 【活動指標】 講座・講演会等 年50回 区における男女平等参画推進事業 16区	<p><港区> 「避難所運営ゲーム」 大規模災害発生後の避難所生活では、性差によるニーズの違いに対する配慮の欠如により様々な問題の発生が懸念される。そこで、避難所運営ゲーム（HUG）を通して、事前に起こりうるリスクを体験的に知り、また男女双方の視点を持つことの重要性を学び、一人ひとりが災害に備えるとともに非常時における役割を考えた。 ・日時 平成27年1月20日（火） 午後1時30分～3時 ・場所 港区役所講堂 ・参加者 36人（全員女性）</p>	講座1回 36人	港区
			<p><南区> 「男女平等参画の視点から考える防災」、「子づれ防災」、「防災ポーチと新聞スリッパ作り」 子育て世帯が特に必要と思われる防災知識の強化と意識向上をはかることを目的に、啓発パンフレットを制作し、これに基づき各学区と保健所の子育てサロンに訪れて講話を実施した。 ・日時 ①11/25(火)、②11/26(水)、③11/27(木)、④12/9(火)、 ⑤1/8(木)、⑥1/16(金) 午前11時～12時（全箇所） ・場所 ①明治3丁目、②テイク7星崎、③笠東3丁目、④南区役所、 ⑤子ども家庭支援センターさくら、⑥菊住3丁目 ・参加者 ①7人、②9人（うち男性1人）、③9人、④19人、 ⑤26人、⑥30人</p>	講話等6回 100人	南区
			<p><守山区> 「守山区避難所運営リーダー研修」 「避難所運営リーダー研修」として、防災や災害対応時における男女平等参画の視点の重要性についての講演を行なうことで、男女ともに主体的に防災に取り組むための意識向上を行なった。 ・日時 ①平成26年12月13日（土）午後1時～ ②平成26年12月20日（土）午後1時～ ・場所 ①小幡小学校 ②守山区役所講堂 ・参加者 76人（2日間合計）（女性6人、男性76人）</p>	講座2回 76人	守山区
			<p><緑区> 「男女平等参画の視点から考える防災～あなたが女性の立場だったら？あなたが男性の立場だったら？～」 災害対策委員等各学区において避難所運営に携わる方を対象に、名古屋みどり災害ボランティアネットワークの岡田代表を講師に迎え、講演やワークショップを行い、避難所開設体験（HUG）をとおして避難所運営における男女平等参画について学んでもらった。 ・日時 平成27年2月25日（水）午後1時30分～4時30分 ・場所 緑区役所講堂 ・参加者 53人</p>	講座1回 53人	緑区
			<p><名東区> 「名東区制40周年記念協賛 名東区男女平等参画の集い～地域の防災リーダーの養成にむけて～」 「男女平等参画の視点から考える防災のための意識改革」および「女性が主体的に防災に取り組むための意識向上や知識習得」をめざして、講演会や展示コーナーを実施したものを。 講師 日高橋子さん（昭和保健所保健予防課長） ・日時 平成27年1月14日（水）午前9時15分～午後1時 ・場所 講演会 名東文化小劇場 展示コーナー 上社レクリエーションルーム ・参加者 270名（男性15名、女性255名）</p>	講演会1回 270人	名東区
			<p><天白区> 「天白区避難所リーダー養成講座」 避難所運営について実際の体験談を交えながら話していただき、避難所がいかに過酷な環境になるかということ、その中で、男女平等参画の視点からどのような問題が出てくるかということを参加者に理解してもらうことができた。 また、今回の講座の中では、HUGを体験してもらい、グループで意見を出し合いながら、避難所運営について考えてもらうことができた。 講師 名古屋みどり災害ボランティアネットワーク代表 岡田 雅美 ・開催日 平成26年9月28日（日） ・場所 天白区役所講堂 ・参加者 76人（男性50人、女性26人）</p>	講座1回 76人	天白区
4	(再掲) 女性のための総合相談事業		(目標1: 35ページ参照)	相談件数 3,757件	総務局
5	(再掲) 男性相談事業		(目標1: 35ページ参照)	相談件数 71件	総務局

<目標2>男女平等・男女の自立のための意識変革

事業番号	事業	事業内容【指標】 又は【現状値】	平成26年度の事業実績	H26 【実績値】	所管局
34	児童虐待防止相談事業	子育ての悩みや子どもへの虐待について、電話相談事業を実施します。 【現状値】(平成21年度) なごやっ子SOS 1,035件	○なごやっ子サポート連絡協議会・なごやっ子サポート区連絡会議 児童虐待等に関する情報交換や個別の処遇困難ケースへの対応策を協議するための全市レベル及び区レベルの会議を開催 ○児童虐待防止相談事業 ＜子ども虐待電話相談受付実績＞ ・なごやっ子SOS（24時間・365日） ○いじめ・児童虐待等児童一時保護施設の運営 いじめや児童虐待等により集団生活になじめず、家庭的な環境でのケアが必要な児童を一時的に保護する施設を運営 ○子ども家庭支援員の登録・派遣 ○養育支援ヘルパーの派遣 ○児童相談所職員に対する法律上の相談助言等の業務を「キャプナ弁護士団」に委託実施 ○オレンジリボンキャンペーンの実施	なごやっ子SOS 3,332件	子ども 青少年局
35	男女平等参画についての職員研修	男女平等参画をテーマとした職員研修を実施します。 【現状値】(平成22年度) 新規採用者研修 350人 新任係長研修 213人 新任課長研修 131人	○男女共同参画をテーマとした職員研修の実施 総務局人材育成・コンプライアンス推進室で実施する職員研修において、階層別に実施する基本研修を中心に、男女共同参画や女性の人権をテーマとした研修を実施する。 ・新規採用者研修（中期研修） 開催時期 平成26年5月 対象 平成26年度新規採用者 参加人数 528人 ・新任係長研修 開催時期 平成26年6月 対象 平成26年度係長職昇任者 参加人数 176人 ・新任課長研修（e-ラーニング） 開催時期 平成26年5月 対象 平成26年度課長職昇任者 参加人数 114人 ・人権指導者養成研修 開催時期 平成26年6月 対象 平成25年度係長昇任選考合格者のうち選択者 参加人数 47人	新規採用者研修 528人 新任係長研修 176人 新任課長研修 114人 人権指導者養成 研修 47人	総務局
			○市職員向け研修資料として作成した「職員向け男女平等参画リーフレット」を研修の際に活用した。	実施	
36	国際理解促進についての情報提供・啓発	名古屋国際センターにおいて、国際カレッジ、地域の国際化セミナー等を実施するほか、イーブルなごやにおいて、講演会、セミナー等を開催します。 【活動指標】 講演会等 年2回	○世界の女性を取り巻く問題についての情報提供 ・講演会、セミナー等を実施 映画「Girl Rising ～私が決める、私の未来～」 98人（女性82人、男性16人） ・イーブルなごや1階情報フロアや活動コーナーにおいて資料提供 ・情報誌等による情報提供	講座1回	総務局
2-⑦ 男女平等参画推進のための調査研究及び情報収集					
37	男女別の統計資料の作成	統計資料の一部として、男女別に集計し、様々な手段(インターネット、刊行物、データベース)で提供します。 【活動指標】 実施	○統計資料の一部として、男女別に集計し、インターネット及び刊行物で提供 ・人口動向調査 集計 ・各種統計にかかる地方集計 ・統計普及 名古屋市統計年鑑 統計で見た名古屋のスケッチ インターネット	実施	総務局
38	男女平等参画白書の作成	様々な分野における男女平等参画の現状を把握し、ウェブ等で広く提供します。 【活動指標】 男女平等参画白書の作成 年1回	○「名古屋市男女平等参画基本計画2015 推進状況報告書」 「名古屋市男女平等参画基本計画2015」による施策の推進状況について、平成25年度事業実績に係る年次報告書を作成 ○「名古屋市男女平等参画白書」作成 「名古屋市男女平等参画基本計画2015 推進状況報告書」と合冊 ○男女平等参画推進室ホームページに報告書を掲載	実施	総務局
39	調査・研究	男女平等参画意識等に関する調査を定期的実施するほか、市が実施する各種調査では男女別のデータにより男女格差などの実態把握に努めます。 【現状値】 市政世論調査 年1回 市政アンケート 年5回 ネット・モニターアンケート 年9回	○調査研究事業 ・第8回男女平等参画に関する基礎調査 調査対象 市内に在住する満20歳以上の方4,000人（無作為抽出） 調査期間 平成26年8月30日～9月19日（21日間） ・大学生の男女平等参画に関する調査準備 調査対象 名古屋域に在学の大学生 調査期間 平成27年4～5月（予定）	実施	総務局
			○市政世論調査、市政アンケート、ネット・モニターアンケートを実施。	市政世論調査1回、市政アンケート5回、ネット・モニターアンケート10回実施	市民 経済局

<目標2>男女平等・男女の自立のための意識変革

事業番号	事業	事業内容【指標】 又は【現状値】	平成26年度の事業実績	H26 【実績値】	所管局
2-⑧ 学校における男女平等教育の推進					
40	男女平等参画の視点に立った人権教育の推進	手引きや教材等を活用して、男女の人権を尊重する教育を推進します。 【活動指標】 実施	○指導資料「学校における人権教育をすすめるために～実用編～」等の活用状況や指導する上での課題や問題点等の把握をした。	実施	教育委員会
			○市内小中学校における実践校、推進校による研究活動の推進 ・平成15年度に作成した「学校における人権教育を進めるために」 平成25年度に作成した「学校における人権教育をすすめるために～実用編～」を人権教育という観点から、取り組む手引きとして活用した。 ・平成21年度に作成した「人権教育の手引き」と平成24年度に作成した「人権教育の手引き 実践編」を、女性に関する課題など様々な人権問題に対する正しい理解と認識を深めるための参考資料として活用した。	実践校 12校 推進校 20校	教育委員会
			○学級名簿、出席簿、卒業証書台帳、分団名簿等を男女混合にして作成 ・平成26年度男女混合名簿実施目標 小学校100%、中学校100% ・校長連絡会の場なども活用しながら、性別による固定的な役割分担意識の解消と個性の尊重という観点から、男女混合名簿の実施を始め、不必要な男女区別の解消に努めた。	小・中・高 全校で実施	教育委員会
41	男女平等参画の視点に立った教科指導	教科「家庭」の中で指導を行います。 【活動指標】 全小中高等学校で実施	○教科「家庭」での指導 「家庭科」の目標に基づいた教科指導 人間の健全な発達と生活の営みを総合にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかわりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てた。(内容 (1)自分の成長と家族(小・中) (2)家庭生活と仕事(小) (3)家庭と家族関係(中)等) 家庭のうち「家庭基礎」、「家庭総合」及び「生活デザイン」から1科目を履修(高)	小・中・高 全校で実施	教育委員会
42	学校における副読本の作成	男女の平等な生き方を考えるための資料として、中学生向け及び小学生向けの男女平等ハンドブックを配布します。 【活動指標】 毎年作成	○中学生向け男女平等ハンドブックの作成・配布 男女の平等な生き方を考えるための資料として、男女平等ハンドブック「男女平等・・・」を名古屋市内の中学1年生全員に配布 ・作成部数 22,000部 ・発行時期 平成26年6月	市内全中学校 で配布	総務局
			○小学生向け男女平等ハンドブックの作成・配布 「誰もがかけがえない大切な存在」であることを理解してもらうための資料として、男女平等ハンドブック「たいせつなこと」を名古屋市内の小学2年生全員に配布 ・作成部数 21,100部 ・発行時期 平成26年9月	市内全小学校 で配布	総務局
			○デートDVリーフレットの作成 高校生・大学生等の若年層を対象としたデートDVの啓発資料を作成	啓発リーフ レット作成	総務局
43	男女平等参画の視点に立ったキャリア教育の推進	就職・進学などにおいて、性別にかかわらず一人ひとりの能力と個性が発揮できる進路選択ができるよう、中学生に対し職場体験学習活動を、高校生に対し就業体験学習活動を実施し、職業意識の形成と進路指導を行います。 また、市立大学においてジェンダー関連講義を行います。 【活動指標】 中学高等学校の90%で実施	○若年層に対するキャリア教育の実施 ・内 容 女子中高生を対象に、将来、技術者や研究者として活躍する女性を増やすことを目的にシンポジウムを開催 「女子中高生の理系！きっかけシンポジウム」 ・開催日 平成26年8月19日(火) ・場 所 愛知県女性総合センター ・参加者 161人(女子中高生108人、その他53人) ・講 師 名古屋大学大学院理学研究所 上川内あづさ	実施 161人	総務局
			○平成26年度に本学で開講されるジェンダー関連講義のリストを、名古屋市立大学男女共同参画推進センターのホームページ上にアップした。 ○人文社会学部専門教育科目及び大学院人間文化研究科(博士前期課程)においてジェンダー関連科目を開講した。 ・人文社会学部専門教育科目 「ジェンダーで見る現代社会」履修者80名 「ジェンダー論」履修者12名 ・大学院人間文化研究科 「ジェンダー/セクシュアルティ研究B」履修者7名	実施 履修者99人	総務局
			○平成26年度開講教養教育科目の実施 名古屋市立大学男女共同参画推進センターがプロデュースする教養教育科目「特色科目13 地域社会における男女共同参画社会をめざして」を開講した。 履修者50名	実施 履修者50人	総務局
			○市大人文学部学生のインターンシップ派遣 男女共同参画社会の実現に向けて、人文社会学部現代社会学科の学生を男女平等参画推進室、男女平等参画推進センター(イーブルなごや)におけるインターンシップ研修に派遣(1名)し、大学内での事前、事後の研修もあわせて実施し、男女平等参画に関する施策等を学習するとともに、男女平等参画推進の担い手を育成	1人	総務局

<目標2>男女平等・男女の自立のための意識変革

事業番号	事業	事業内容【指標】 又は【現状値】	平成26年度の事業実績	H26 【実績値】	所管局
4.3	(続き) 男女平等参画 の視点に立っ たキャリア教 育の推進	就職・進学などにおいて、性別にかかわらず一人ひとりの能力と個性が発揮できる進路選択ができるよう、中学生に対し職場体験学習活動を、高校生に対し就業体験学習活動を実施し、職業意識の形成と進路指導を行います。 また、市立大学においてジェンダー関連講義を行います。 【活動指標】 中学高等学校の90%で実施	○中学校：職場体験学習活動 適切な勤労観や職業観を養わせるための手だてとして、職場体験活動を実施する。職場訪問や、職業人を講師として招聘し、生徒の意識を高揚させた上で、職場体験学習を実施した。 全校が円滑に職場見学、職場体験ができることを目指した。 ○高等学校：就業体験学習活動 職業に関する学科（家庭・商業・工業・総合学科）に学ぶ生徒を中心に就業体験学習を推進し、専門に関する学習の深化を図るとともに、就業体験を通して望ましい勤労観・職業観を養い、自己の個性を理解し主体的に進路を選択する能力・態度の育成に資した。 ・実施校 名古屋商業高校、若宮商業高校、西陵高校、工業高校、 工芸高校、桜台高校、菊里高校、向陽高校、北高校、 緑高校、富田高校、山田高校、名東高校、中央高校（夜間・ 昼間） ・実施人数 1,600人 ・受入れ企業数 650社 ・実施形態：一般事務、販売、保育補助、看護補助、ヘルパー業務、 企画補助、設計補助、施工補助、機械関連企業での現場 作業補助、受付業務等に従事	中高合わせて 100%実施	教育 委員会
4.4	男女平等参画 についての教 員研修	基本研修・経営研修の中で、「男女平等意識の醸成のための内容」に触れた講演を実施します。 【現状値】(平成21年度) 基本研修 年6回 経営研修 年3回	基本研修・経営研修 基本研修・経営研修の中の「人権教育研修」の一環として、「男女平等意識の醸成のための内容」に触れた講演を実施。経営研修の新任教（園）長を対象とする校（園）長研修会においては、男女平等参画に関する講演を実施 ○基本研修 ・初任者研修会・幼稚園新規採用教員研修会・新規採用養護教員研修会・高等学校初任者研修会・高等学校新規採用養護教員研修会 ・新規採用栄養教員研修会「人権と教育」 （7月28日・新規採用教諭・養護教諭・栄養教諭） 【400人】 ・新規採用学校事務職員研修会「人権と教育」（6月24日・新規採用学校事務職員・臨時的任用学校事務職員） 【13人】 ・幼稚園教職経験者研修会（Ⅰ）「人権と教育」 （7月25日・経験年数5、6年目の幼稚園教諭） 【13人】 ・教職経験者研修会（Ⅰ）「人権と教育」 （7月25日・経験年数5年目の教諭） 【368人】 ・養護教員経験者研修会（Ⅰ）・高等学校養護教員経験者研修会（Ⅰ） 「人権と教育」 （7月25日・経験年数5年目の養護教諭） 【20人】 ・栄養教員・学校栄養職員経験者研修会（Ⅰ） （7月22日・経験年数5、6年目の栄養教諭・学校栄養職員） 【5人】 ・幼稚園教職経験者研修会（Ⅱ）「人権と教育」 （7月22日・経験年数10年目の幼稚園教諭） 【14人】 ・養護教員経験者研修会（Ⅱ）・高等学校養護教員経験者研修会（Ⅱ） 「人権と教育」 （8月4日・経験年数10、11年目の養護教諭） 【18人】 ○経営研修 ・校（園）長研修会「男女共同参画社会に向けて」 （1月13日・新任教（園）長） 【66人】 ・校（園）長研修会「人権と教育」 （4月25日・新任教（園）長・2年目校（園）長） 【138人】 ・教頭研修会「人権と教育」 （5月30日・新任教頭・2年目教頭） 【155人】	基本研修8回 経営研修3回	教育 委員会
4.5	学校における 健康教育	市内中学・高校への男女平等参画出張講座の実施や、保健の学習や学級活動などを通じた性教育を行います。 【活動指標】 実施	○出張講座の実施 ・テーマ「デートDV」瑞陵高校始め 3回 82人（女性49人、男性33人） ○性教育 保健の学習や学級活動などを通して、心身の発達、生命誕生の仕組み、男女の特性などを理解し、性に対する認識を深め、自他の生命を尊重する態度を養うことをめざした指導を行った。 ○市内高校への出前講座 男女平等参画・社会的性別（ジェンダー）・デートDV等に関する出前講座の実施 「お互いを大切にすること」（工芸高等学校） 始め ・講座数 4回 ・参加者 1,514人（女性860人 男性645人、不明9人）	出張講座等 3回 実施 出前講座4校 1,514人	総務局 教育 委員会 教育 委員会

<目標2>男女平等・男女の自立のための意識変革

事業番号	事業	事業内容【指標】 又は【現状値】	平成26年度の事業実績	H26 【実績値】	所管局
2-9 地域・家庭における男女平等教育の推進					
46	男女の生き方を考える学習機会の提供	イーブルなごや（男女平等参画推進センター・女性会館）や生涯学習センターにおいて男女の生き方や女性のエンパワメントのための講座等を実施します。また、女性会館において学習者の求めに応じて、必要な情報を提供します。 【活動指標】 講座 年42講座 学習相談 年150件	○女性のエンパワメントのための講座等の実施。 ・「女性起業家ビギナースサロン」始め 講座数 21講座 参加者 2,152人（女性994人、男性171人、不明987人）	主催講座等 21講座 2,152人	総務局
			○学習相談事業 ・女性会館での学習相談 103件	103件	教育委員会
			○主催講座事業 男女共同参画社会の実現に向けて、女性のエンパワメントにつながる学習機会を提供。また、生涯学習者の一人として自分らしく生きるために、生活の中の課題をさぐりながらその課題を認識するとともに、課題解決に向けて、主体的な力を身につけるための系統的・継続的な自主学習につながる契機として講座を開催 ・前期講座（平成26年5月～10月） 「自尊心の1（7）メッセージ～アサーティブ・コミュニケーション～」はじめ8講座 定員 10～40人（女性又は男女対象） 各講座 2～3回（計33回） 学習者 143人（女性139人、男性4人） ・後期講座（平成26年10月～平成27年3月） 「私と家族の健康は毎日の生活から」はじめ8講座 定員 20～40人（女性又は男女対象） 各講座 3～5回（計33回） 学習者 159人（女性146人、男性13人）	主催講座 16講座 延べ1,275人	教育委員会
			○家庭教育セミナー 市立小中学校・幼稚園・特別支援学校のPTAに企画・運営等を委託し、年2回以上、各学校の体育館・会議室などで家庭教育に関する講演会や親としてのあり方を話し合う場を設けることにより、主体的に家庭教育について考える機会を提供し、子育てに役立てる。 ・参加PTA数 398 （小学校262、中学校109、幼稚園23、特別支援学校4） 26年度も継続して「親学ノススメ」をサブテーマに、計398のPTAに年1回以上の開催を委託。	延参加人数 19,719人	教育委員会
			○女性セミナー 女性を対象に、「男女共同参画」の視点をふまえて、身の周りにある問題を考えて、自分自身の生き方を再発見したりする学習機会を提供。16区の各生涯学習センターにおいて、公開講座や現地学習などを取り入れた学習プログラムで開催 <開催実績> ・開催生涯学習センター数 15 ・講座数 15 ・参加者数 359人（女性359人）	講座等15回 359人	各区
47	女性の学習グループ等の支援	高等教育機関と連携し、女性の生涯学習の推進とリーダーとしての資質向上を図る講座を開設します。 【活動指標】 女性学習活動研究委託団体数 30団体 なごや女性カレッジ 年1講座 研修会・交流会 年15回	○女性学習活動研究委託 女性の自主的な学習活動を定着させるとともに、よりよい学習をすすめる活動の研究を市内の女性の団体、グループに委託	委託団体数 30団体	教育委員会
			○女性による団体・グループの学習活動 ・対象 市内在住・在勤・在学の成人女性10人以上で構成された団体・グループ ・委託期間 6月から12月 ・委託団体数 30団体		
			○なごや女性カレッジ 南山大学大学院教育ファシリテーション専攻と共催し、女性のリーダー育成、資質向上を図る講座を開設 「自尊心の1（7）メッセージ～アサーティブ・コミュニケーション～」 ・開催日 6/17～7/15開催（5回） ・学習者 女性29人（延べ145人）	講座1回 29人	教育委員会
			○グループ活動支援事業 男女共同参画につながる活動や、女性の自己実現に向けた活動をしている団体・グループの発展をめざし、研修会や活動発表、交流の場を開設また団体・グループの自主的な交流会等を支援 ○イーブルなごや・フェスティバル2014 ・開催日 11/4～12/7 ・内容 全館オープングループ活動デー、映画上映、展示等	実施	教育委員会
			○研修会・交流会 ・要約筆記ボランティア研修会 1回 ・点訳ボランティア研修会 1回 ・託児ボランティア研修会 5回 ・子育てグループ交流会 2回	研修会・交流会 9回	教育委員会